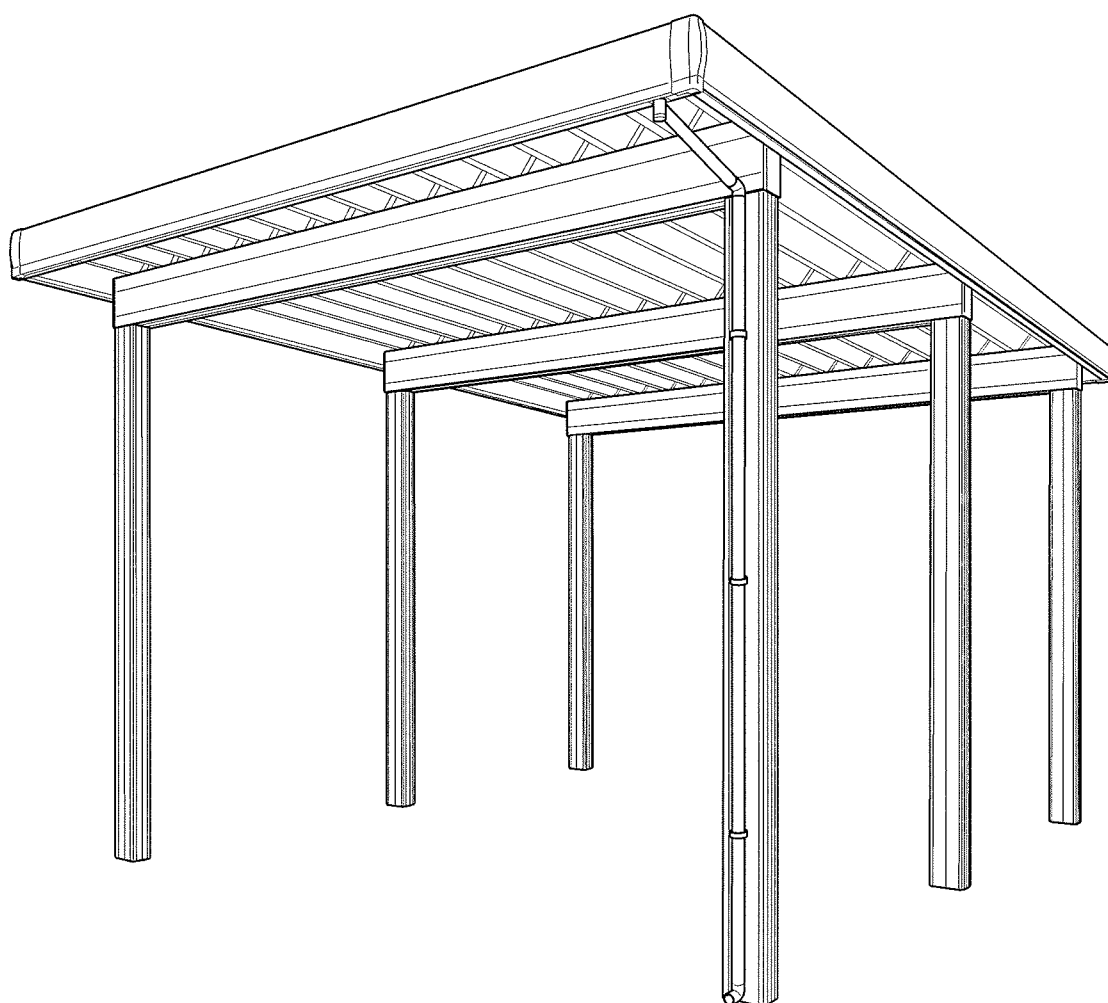


折板式カーポート (異形コーナースタック)

取付け説明書



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本製品施工の際は、「折板式カーポート組立て部品セット」に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注 意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●部材の固定

- ・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又施工後ねじ・ボルトにゆるみがないか点検してください。
- ・柱移動は当社指定範囲内にしてください。

●施工について

- ・指定以外の改造・変更(階段屋根・母屋への取付けなど)をしないでください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・指定個所にコーキング材を充てんしてください。

■取付け上のおお願い

- 取付けは、専門業者の方が行ってください。
- 折板は必ず2つ以上の梁にのるようにしてください。
- 折板の梁からの持出し寸法は本体取付け説明書に記載された標準納まり以下の寸法にしてください。
- 1台・2台用の設定となります。
- 形材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。
- 縦どいについて
 - ・縦どいは必ず指定本数以上取付けてください。

■梱包明細表

●異形コーナブロックセット

名 称	員 数		
	出隅	入隅	隅切り
異形コーナブロック (出隅用)	1	—	—
異形コーナブロック (入隅用)	—	1	—
異形コーナブロック (隅切り)	—	—	1
ナベドリル小ねじφ4×16	10	10	10
取付け説明書 (異形コーナブロック)	1	1	1
側枠連結金具 (自在用) A	—	—	2
側枠連結金具 (自在用) B	—	—	1
ナベタッピンねじ (3種) φ4×16	—	—	6
雨どい連結パッキン	—	—	1
プチルコーキング (100g)	—	—	1

●側枠台形部品セット

名 称	員 数
側面台形パッキン	1
側面台形水切り (L/R)	各1
ナベドリル小ねじφ4×16	18
取付け説明書 (異形コーナブロック)	1
側面台形水切り用防水シール	1

●雨どい端部キャップセット

名 称	員 数
雨どい端部キャップ (L/R)	各1
ナベタッピンねじ (3種) φ5×12	6

●側枠セット

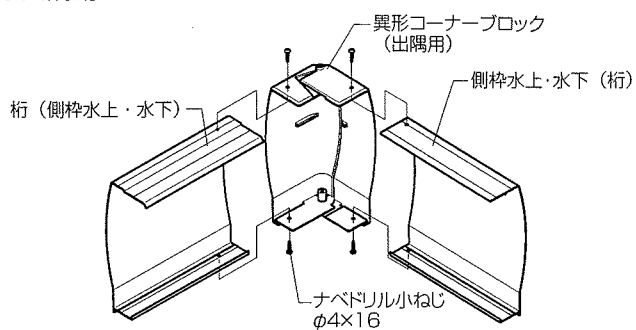
名 称	員 数	
	側枠 (水上)	側枠 (水下)
側枠 (水上)	1	—
側枠 (水下)	—	1

●桁セット

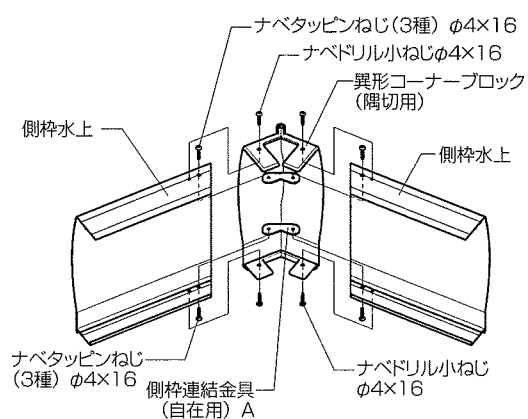
名 称	員 数	
	桁	桁 (側枠台形用)
桁	1	—
桁 (側枠台形用)	—	1
桁カバー (側枠台形用)	—	1

■構成図

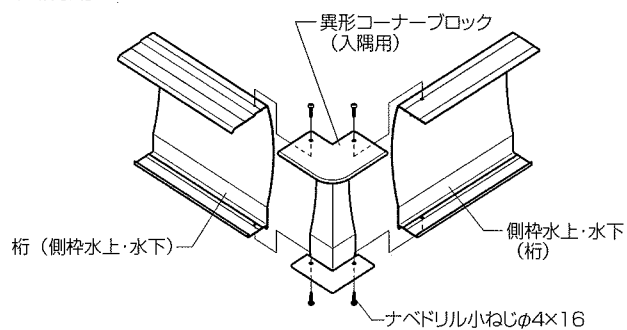
●出隅用



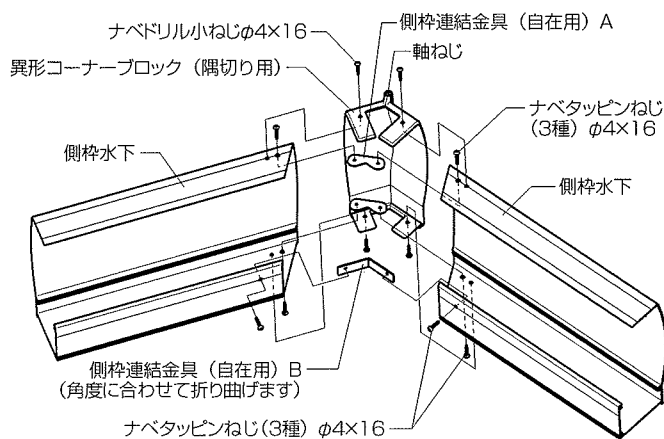
●隅切り用(水上)



●入隅用

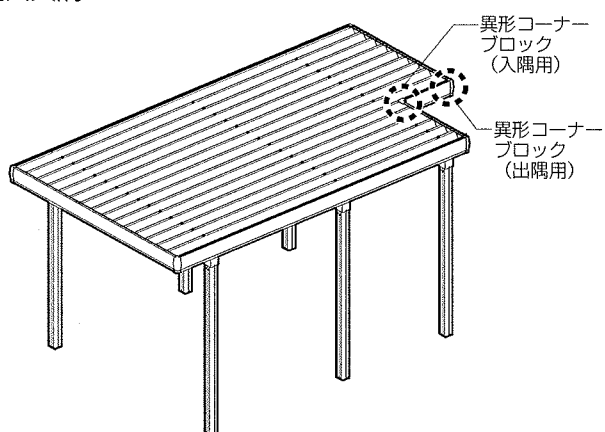


●隅切り用(水下)

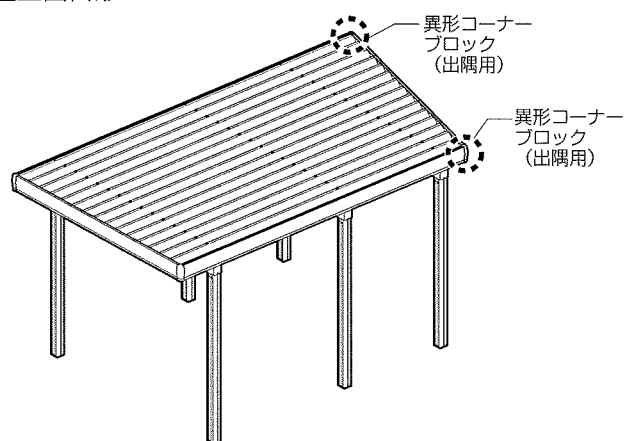


■各納まり図

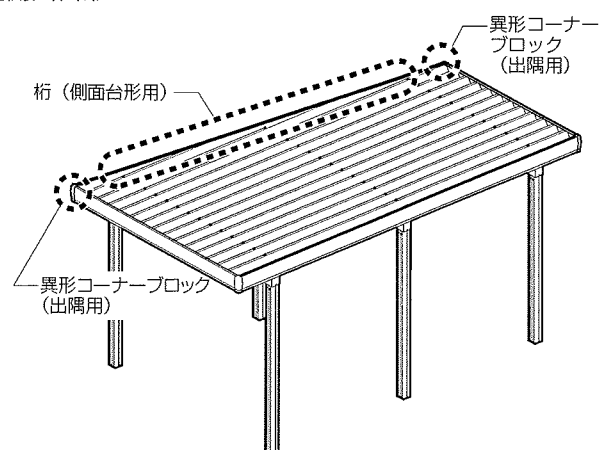
1 出入隅



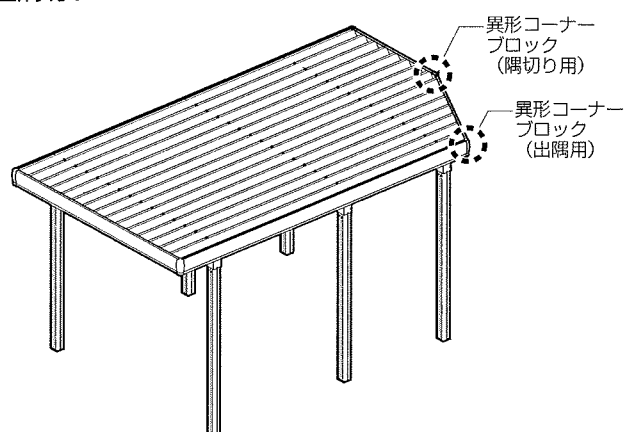
2 正面台形



3 側面台形

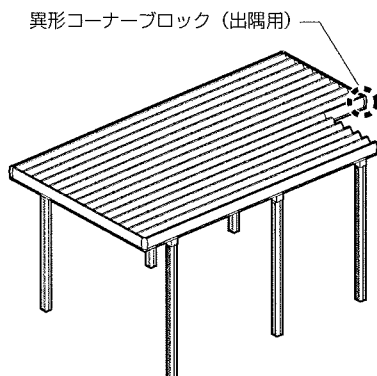


4 隅切り



■取付け順序(各納まり例)

■1 出入隅の取付け



■取付け詳細

■1 出入隅の取付け

【出隅コーナーの取付け】

※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めてタイトフレームおよび折板に固定してください。

※異形コーナーブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足1を参照してください。

※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

①異形コーナーブロック(入隅用)を桁の入隅側に取付け、タイトフレームおよび折板に固定します。

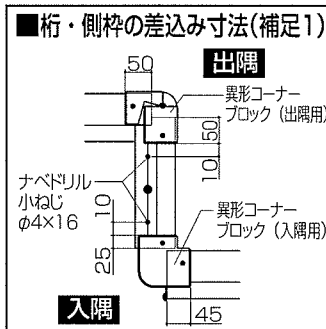
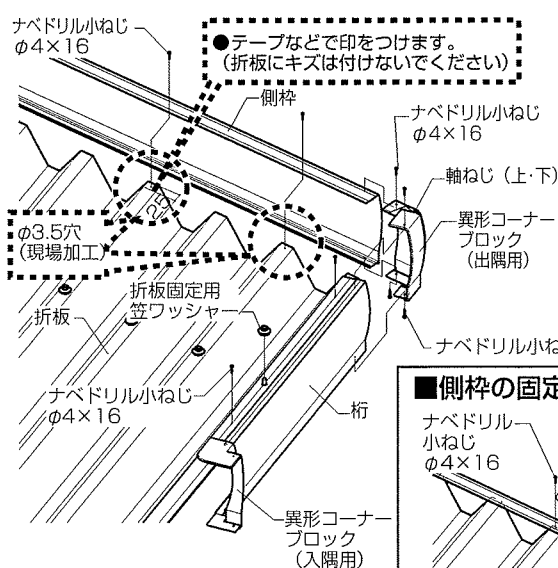
(タイトフレームのない場合は折板への固定のみになります)

②下図のように折板の端部から25mmの位置にフェルトペン又はテープなどで位置をしるします。

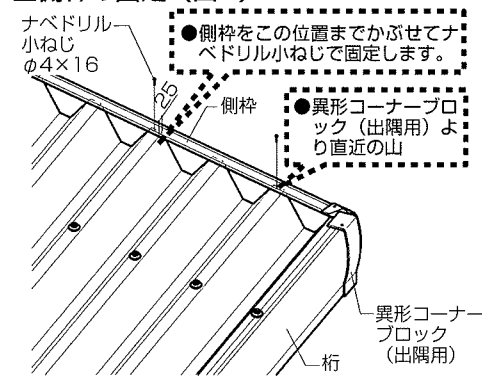
※サビの原因になるため、ケガキ線で折板にキズを付けないでください。

③コーナーブロックおよび異形コーナーブロック(出隅用)を側枠に取付け、側枠をナベドリル小ねじで固定します。(図1参照)

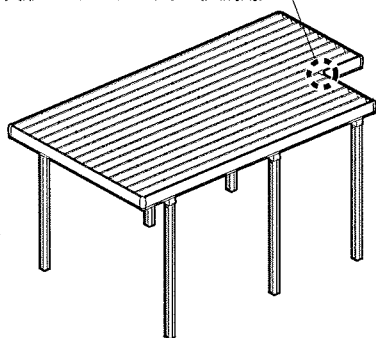
④自在コーナーブロックの軸ねじ(上・下)を締付けます。



■側枠の固定 (図1)



異形コーナーブロック（入隅用）



▲ 注意

●指定の個所に必ずシーリングをしてください。

【入隅コーナーの取付け】

※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めて、タイトフレームおよび折板に固定してください。

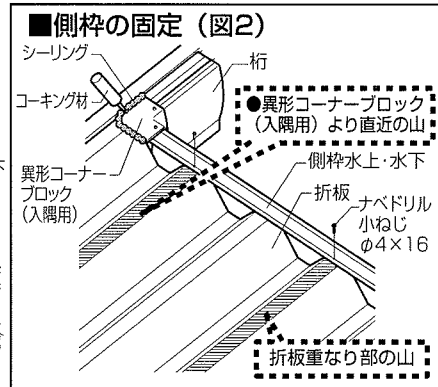
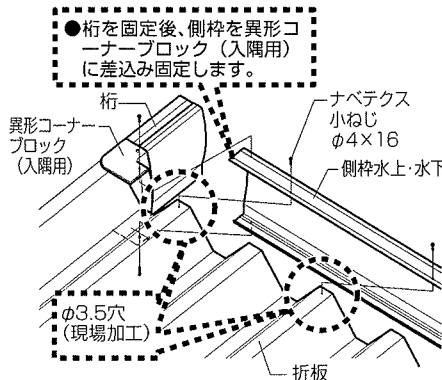
※異形コーナーブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足1を参照してください。

※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

①異形コーナーブロック（入隅用）を取付けた桁をタイトフレームおよび折板に固定します。（タイトフレームのない場合は折板への固定のみになります）

②側枠を異形コーナーブロック（入隅用）に差込み、側枠を入隅直近の山および折板の重なり部にナベドリル小ねじで固定します。（図2参照）

③図にしたがい、異形コーナーブロック（入隅用）のまわりにシーリングをします。（図2）



2 正面台形の取付け

※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めて、タイトフレームおよび折板に固定してください。

※異形コーナーブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足2を参照してください。

※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

①桁をタイトフレームに固定します。

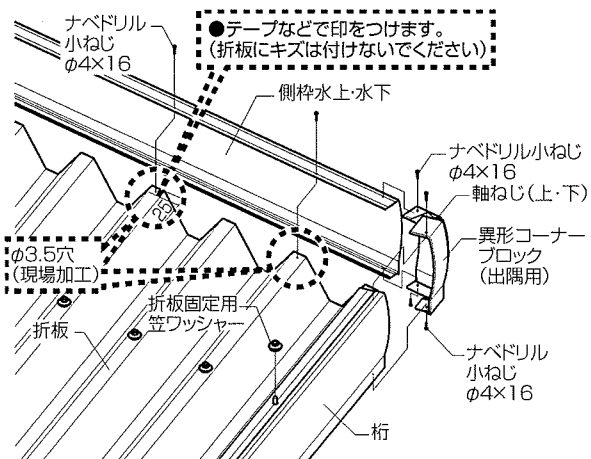
②下図のように折板の端部から25mmの位置にフェルトペン又はテープなどで位置をしるします。

※サビの原因になるため、ケガキ線で折板にキズを付けないでください。

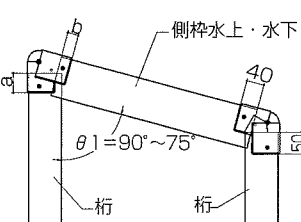
③異形コーナーブロック（出隅用）を側枠に取付け、側枠をナベドリル小ねじで固定します。（図3参照）

④異形コーナーブロック（出隅用）を桁に固定します。

⑤異形コーナーブロック（出隅用）の軸ねじ（上・下）を締付けます。



■ 桁・側枠の差込み寸法（補足2）

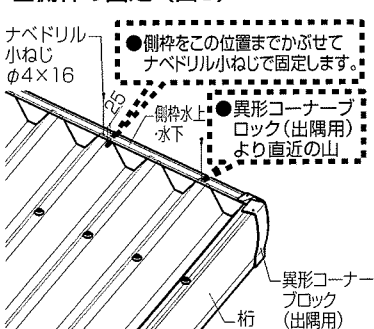


●差込み寸法a・b

θ1	a	b
90°	50	40
87°	50	37
84°	50	34
81°	50	31
78°	48	28
75°	45	25

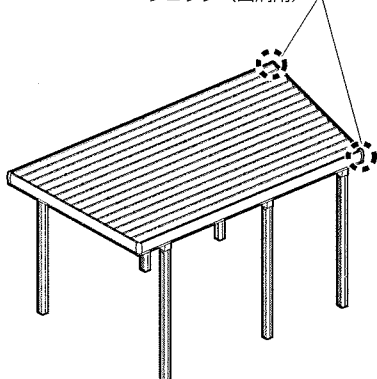
（本表は鋭角側を示します）

■ 側枠の固定（図3）

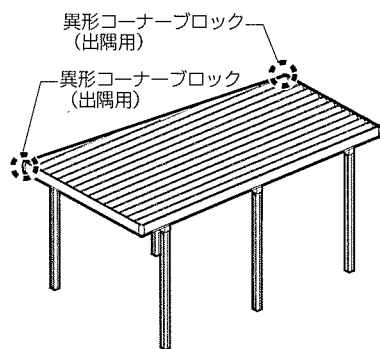


2 正面台形の取付け

異形コーナーブロック（出隅用）



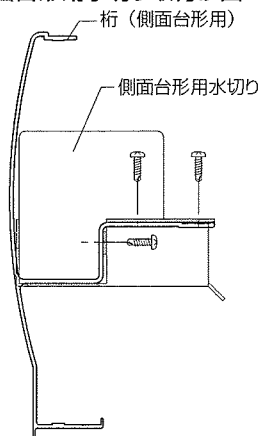
3 側面台形の取付け



▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングをしてください。

■ 側面台形用水切り取付け図



3 側面台形の取付け

※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めて梁、タイトフレームおよび折板に固定してください。

※タイトフレームおよび折板を取付ける前に固定してください。

※異形コーナブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足3を参照してください。

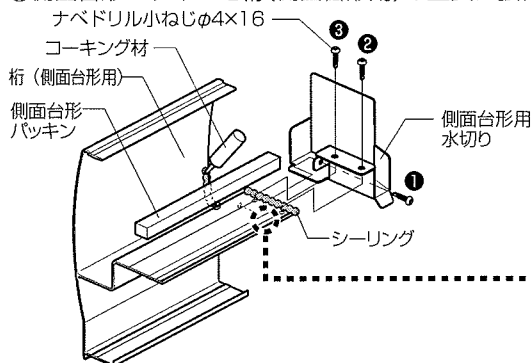
※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

①側面台形用水切りを桁(側面台形用)水下側取付け位置にシーリングを施し、そこに側面台形水切りを取付けてください。

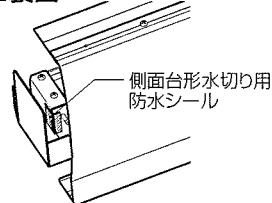
※下図のねじ番号順に固定します。

②側面台形水切り用防水シールを張り、側面台形水切りの全周にシーリングを施します。(図4)

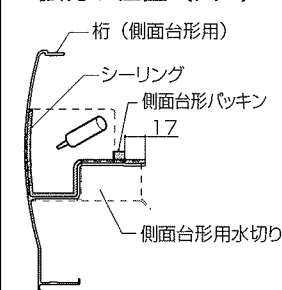
③側面台形パッキンを桁(側面台形用)の全長に張付けます。(図4参照)



■ 裏面

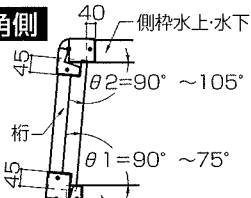


■ 側枠台形パッキン張付け位置 (図4)

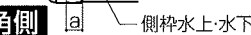


■ 桁・側枠の差込み寸法 (補足3)

● 鈍角側



● 鋭角側



● 差込み寸法a

θ1	a
90°	40
85°	35
80°	30
75°	25

(aが鋭角側)

④桁(側面台形用)を梁端部キャップに当てながら、ナベドリル小ねじで梁に固定します。

※桁固定金具は桁と梁端部キャップの接触する側に取付けてください。(図5参照)

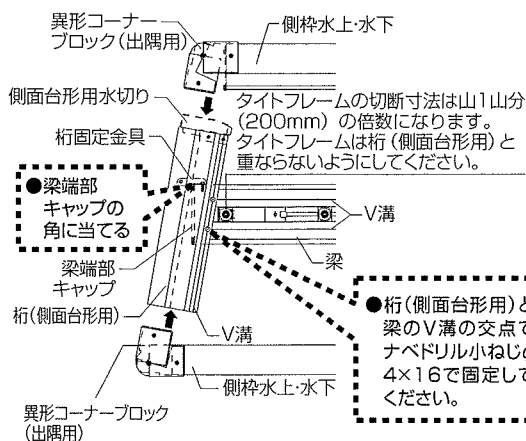
⑤タイトフレームと折板を取付けてください。

⑥桁カバー (側面台形用)をナベドリル小ねじでV溝位置に固定します。

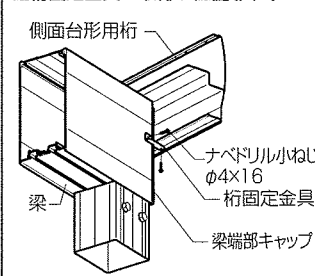
⑦異形コーナブロック(出隅用)を取付けた側枠水上・水下を折板にナベドリル小ねじで固定します。

⑧異形コーナブロック(出隅用)を桁にナベドリル小ねじで固定します。

⑨異形コーナブロック(出隅用)の軸ねじ(上・下)を締付けます。



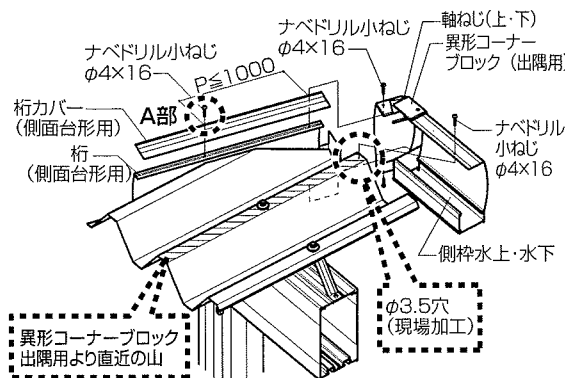
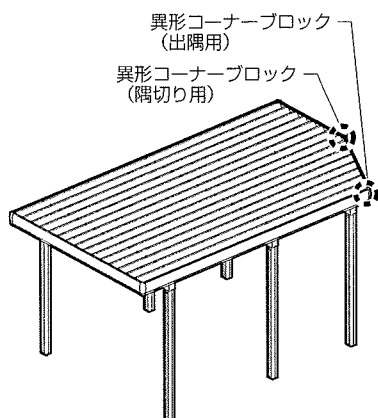
■ 桁固定金具の取付け位置(図5)



▲ 注意

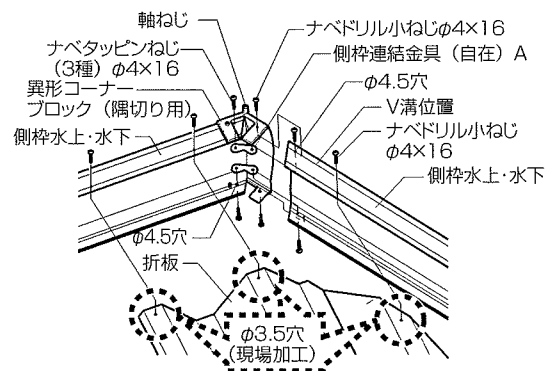
- 指定の個所に必ずシーリングをしてください。

4 隅切りの取付け

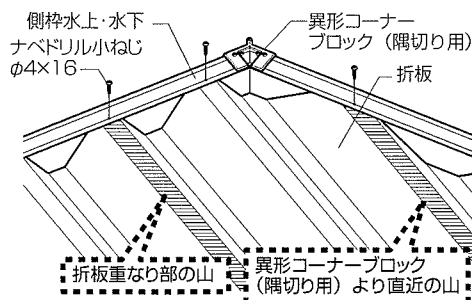


4 隅切りの取付け

- ※ 下記手順にしたがって側枠の位置を決めて折板に固定してください。
- ※ 異形コーナーブロックへの側枠の差込みは止め切りで納まるようにしてください。
- ※ 水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。
- ① 異形コーナーブロック (隅切り用) をナベドリル小ねじで側枠水上・水下に取付けます。
- ② 側枠を側枠連結金具 (自在用) A で固定します。
- ※ 側枠水下を連結する際は側枠連結金具 (自在用) B も固定してください。
- ※ 側枠連結金具 (自在用) A および B の取付け位置は補足4を参照してください。
- ③ 側枠の継ぎ目と金具の周りにシーリングをします。
- ※ 側枠水下の場合のみ雨どい連結パッキンを図のようにアーチ状に曲げて連結部をまたぐように張付け、まわりをシーリングします。(補足5参照)
- ④ 側枠を隅切り直近の山および折板の重なり部にナベドリル小ねじで固定します。(図6参照)
- ⑤ 異形コーナーブロック (隅切り用) の軸ねじ (上・下) を締付けます。

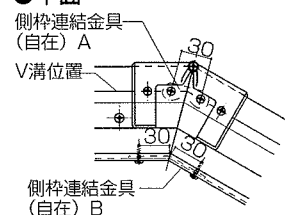


■ 側枠の固定 (図6)

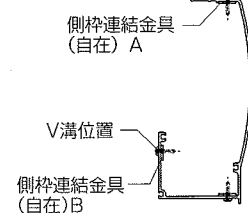


■ 側枠連結金具の取付け位置 (補足4)

● 平面



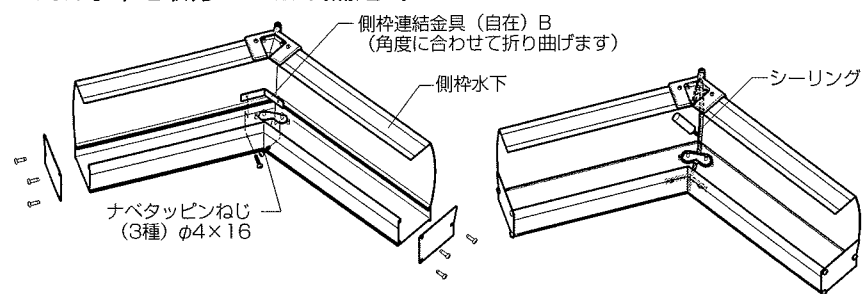
● 断面



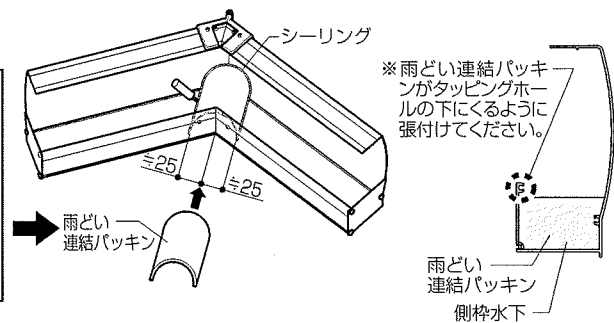
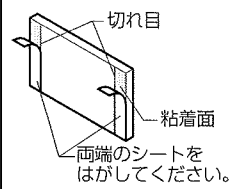
▲ 注 意

● 指定の個所に必ずシーリング
をしてください。

■ 側枠水下を取付ける場合(補足5)



■ 雨どい連結パッキン



■各納まり例

■出入隅

■製作制限

※基本図を参照の上、作製してください。

※折板は必ず2つ以上の梁(タイトフレーム)にとめてください。

※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。

※1台・2台用の設定となります。

①製作可能寸法表の寸法範囲内で作製してください。

②敷地にあわせてL1、L3、L5、L6を決めてください。

③折板の切断位置(A部)が右図のようになるようにL4を設定してください。

※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。サビの原因となります。

※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。

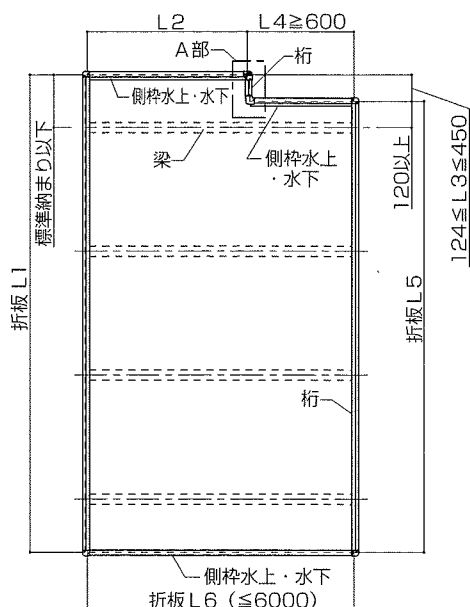
④柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L6の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。(折板式カーポート(本体)取付け説明書参照)

⑤部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。

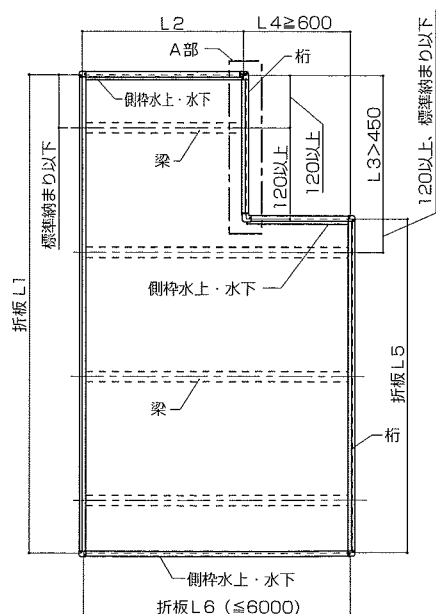
●製作可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	出入隅			
				L3		L4	
	長さ	幅		最小	最大	最小	最大
900 ・ 1500	55	30	4	124	450	600	2400
	60	30	4	124	450	600	2400
	55	55	4	124	450	600	4800
	60	55	4	124	450	600	4800
	55	60	4	124	450	600	5400
	60	60	4	124	450	600	5400
3000	55	30	4	124	450	600	2400
	55	30	6	124	2579	600	2400
	60	30	4	124	450	600	2400
	60	30	6	124	2879	600	2400
	55	55	6	124	2579	600	4800
	60	55	6	124	2879	600	4800
	55	60	6	124	2579	600	5400
	60	60	6	124	2879	600	5400
4500	55	30	6	124	2579	600	2400
	60	30	6	124	2879	600	2400
	55	55	8	124	3279	600	4800
	60	55	8	124	3679	600	4800
	55	60	8	124	3279	600	5400
	60	60	8	124	3679	600	5400

●入隅部に梁が入らない場合

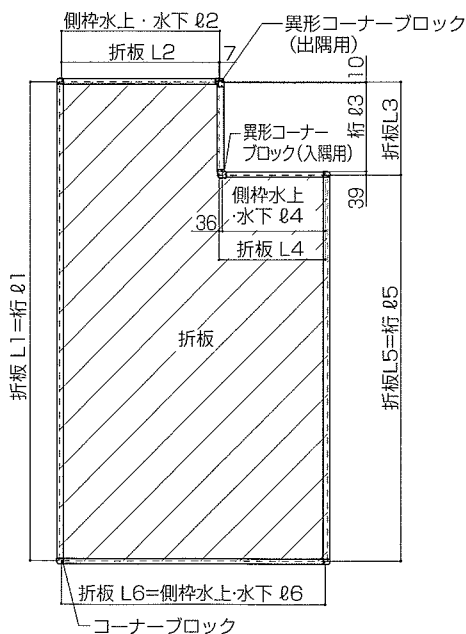
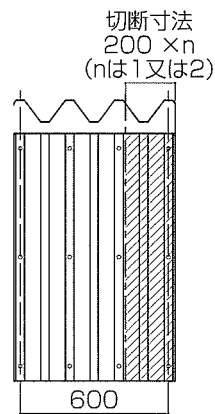


●入隅部に梁が入る場合

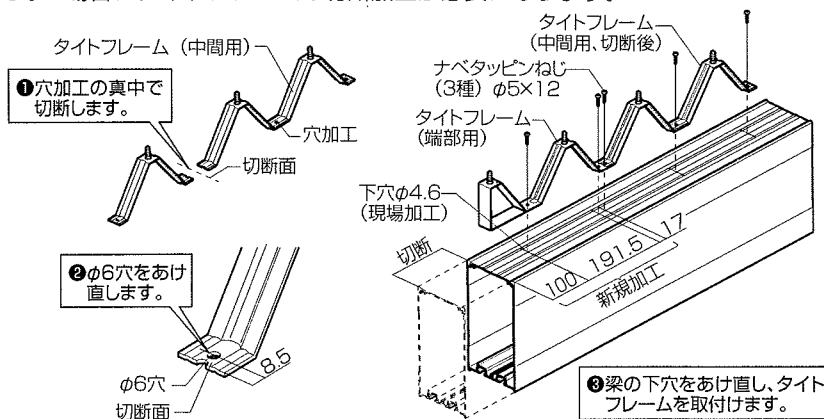


■A部折板詳細図

※切断寸法は折板の山1山分(200mm)の倍数になります。



※入隅部に梁が入る場合で切断寸法が600mm(タイトフレーム中間用1個分)の倍数でない場合、タイトフレームの切断加工が必要になります。



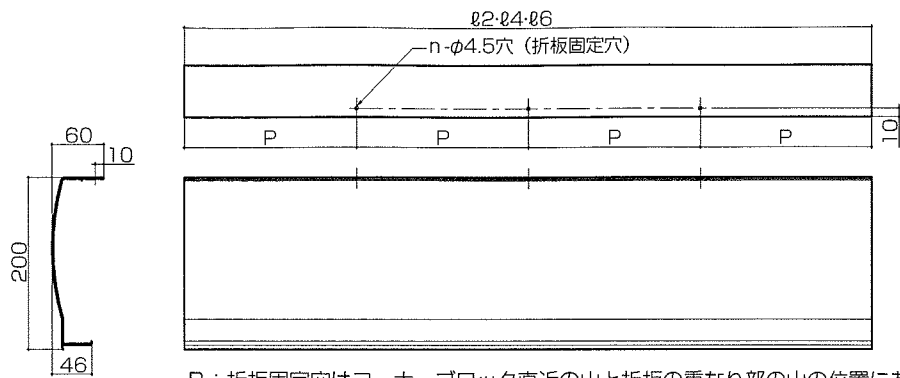
●部材切断寸法表

※部材の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1	—
ℓ2	—	L2+7
ℓ3	L3-49	—
ℓ4	—	L4-36
ℓ5	L5	—
ℓ6	—	L6

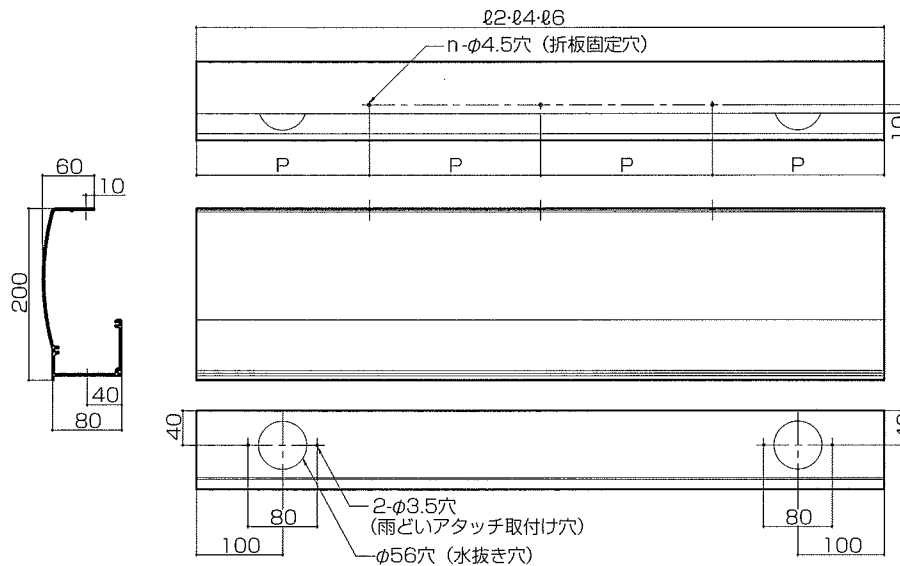
■加工図

●側枠水上



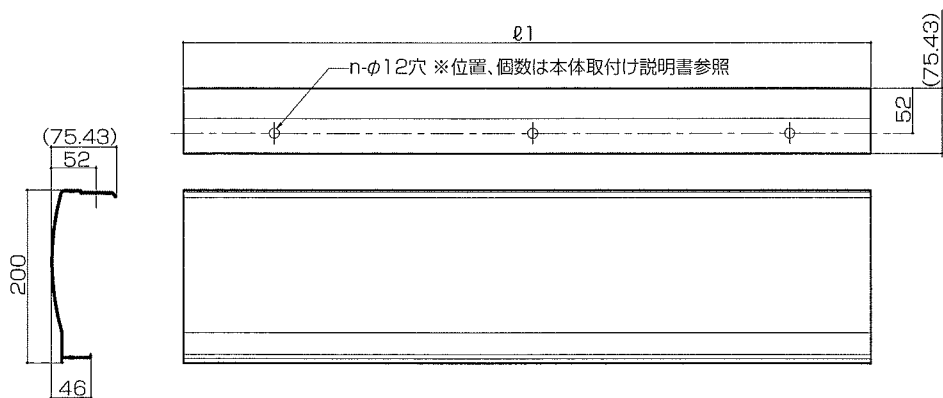
P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●側枠水下

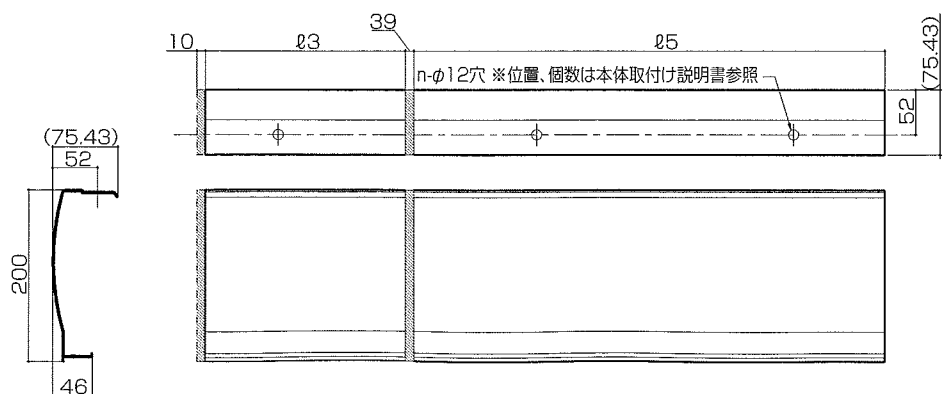


P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。
※雨どいアタッチ取付け穴および水抜き穴は柱側のみの片側加工になります。

●桁



●桁(出入隅側)



2 正面台形

■製作制限

※基本図を参照の上、作製してください。

※折板は必ず2つ以上の梁(タイトフレーム)にとめてください。

※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。

※1台・2台用の設定となります。

※型材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。

※自在角度の範囲は75°～105°までです。

①製作可能寸法表の寸法範囲内で作製してください。

②敷地にあわせてL1、L3、L4を決めてください。

③折板は「■折板切断部詳細図」を参照の上、D寸法角度換算表で求めた角度からE値対応表にてE値を求めて切断してください。切断の際は、フェルトペン又はテープなどで切断位置を記し切断します。

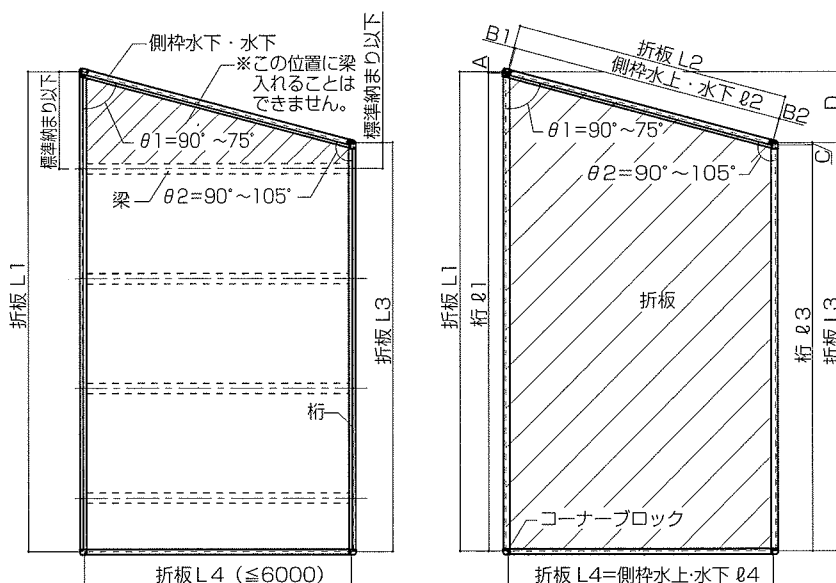
※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。

サビの原因となります。

※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。

④柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L4の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。(折板式カーポート(本体)取付け説明書参照)

⑤部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。



※振れ角θ1は下記の表の範囲で製作してください。

	幅30	幅55	幅60
4本柱	75°～90°	77°～90°	79°～90°
6・8本柱	81°～90°	85°～90°	86°～90°

●部材切断寸法表

※桁・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1-A	—
ℓ2	—	L2-B1-B2
ℓ3	L3-C	—
ℓ4	—	L4

●E値対応表(θ1)

θ1	E
～90°	0
～82°	4
75°	8

●左記表のEは以下の式から求められます。

$$E = 28 \times \tan(\theta_2 - 90^\circ) - 11 + \frac{11}{\cos(90^\circ - \theta_1)}$$

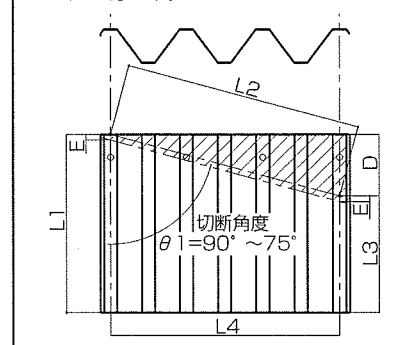
●製作可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	正面台形 D	
	長さ	幅		最小	最大
900 ・ 1500	55	30	4	0	804
	60	30	4	0	804
	55	55	4	0	1050
	60	55	4	0	1050
	55	60	4	0	1247
	60	60	4	0	1166
3000	55	30	4	0	804
	55	30	6	0	475
	60	30	4	0	804
	60	30	6	0	475
	55	55	6	0	472
	60	55	6	0	472
4500	55	60	6	0	420
	60	60	6	0	420
	55	30	6	0	475
	60	30	6	0	475
	55	55	8	0	472
	60	55	8	0	472
	55	60	8	0	420
	60	60	8	0	420

●上記表のDは以下の式から求められます。

$$D = \text{枚数} \times 600 \times \tan(90^\circ - \theta_1)$$

■折板切断部詳細図



●D寸法角度換算表

D	幅サイズ		
	30	55	60
～100	88°	89°	89°
～200	86°	88°	88°
～300	84°	87°	87°
～400	82°	86°	86°
～500	81°	85°	85°
～600	79°	84°	84°
～700	77°	83°	83°
～800	75°	82°	82°
～900	—	81°	81°
～1000	—	80°	81°
～1100	—	78°	80°
～1200	—	77°	79°

[参考]切断寸法A・B1・B2・Cの代表的な数値を示します。

$\theta 1$	$\theta 2$	A	B1	B2	C
~90°	90°	10	3	3	10
~87°	~93°	10	5	3	13
~84°	~96°	10	8	4	16
~81°	~99°	10	11	4	19
~78°	~102°	12	13	3	22
75°	~105°	15	16	3	25

●上記表のA・B1・B2・Cは以下の式から求められます。

$$\theta 1 \geq 80^\circ \rightarrow A = 10$$

$$\theta 1 \geq 80^\circ \rightarrow A = 10 + (80 - \theta 1 ※)$$

※角度を数値として代入

$$B1 = 31 - \frac{28}{\cos(90^\circ - \theta 1)} - (11 - 28 \times \tan(90^\circ - \theta 1)) \times \sin(90^\circ - \theta 1) + (90 - \theta 1 ※)$$

※角度を数値として代入

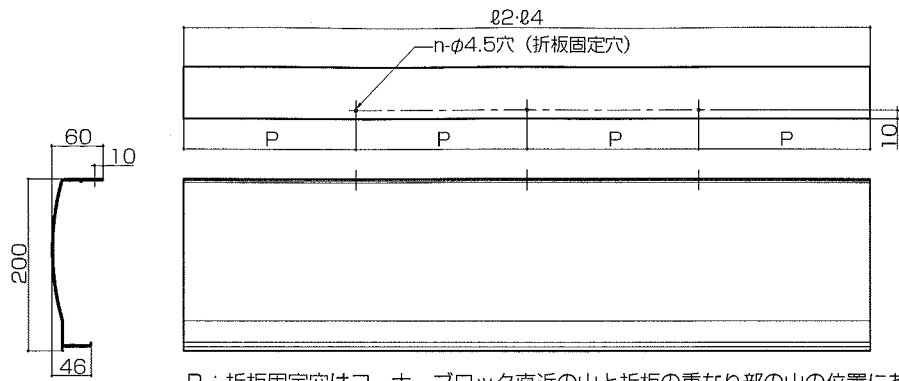
$$B2 = 31 - \frac{28}{\cos(\theta 2 - 90^\circ)} + (11 - 28 \times \tan(\theta 2 - 90^\circ)) \times \sin(\theta 2 - 90^\circ ※)$$

※角度を数値として代入

$$C = 21 + (56 \times \tan(\theta 2 - 90^\circ) - 11)$$

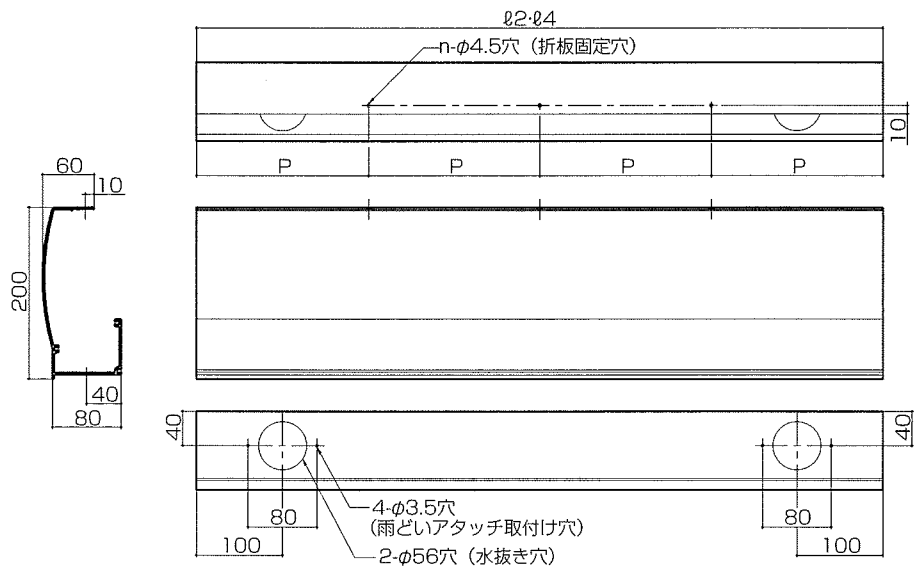
■加工図

●側枠水上



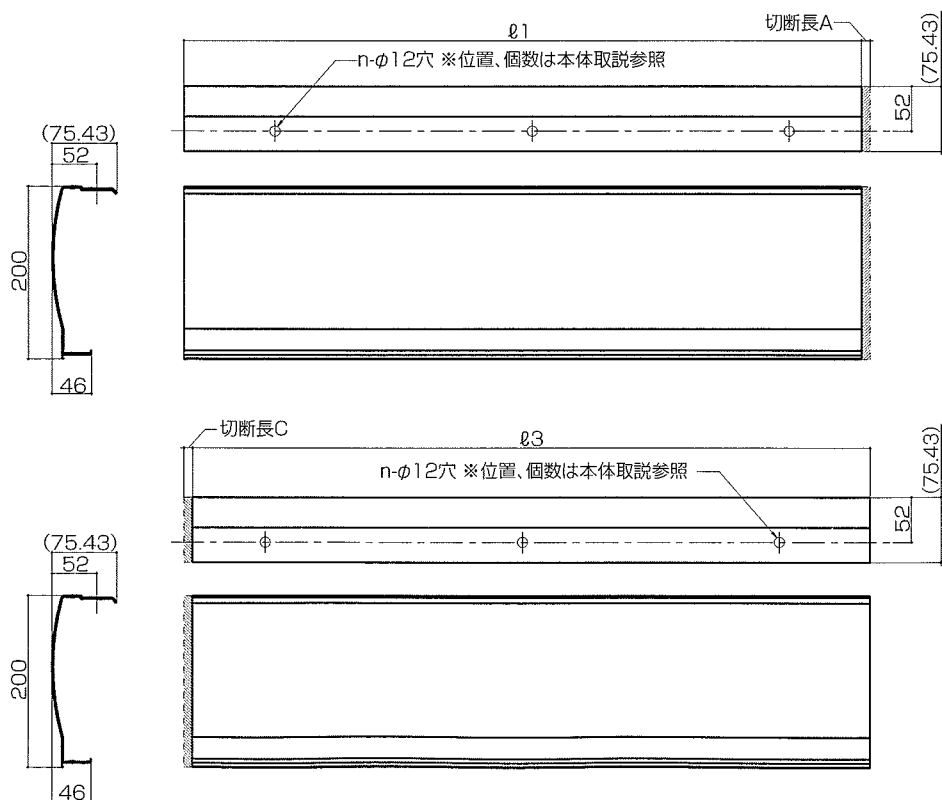
P : 折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●側枠水下



P : 折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●桁



3 側面台形

■製作制限

※基本図を参照の上、作製してください。

※折板は必ず2つ以上の梁(タイトフレーム)にとめてください。

※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。

※1台・2台用の設定となります。

※型材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。

※自在角度の範囲は75°～105°までです。

①製作可能寸法表および対応角度一覧表の寸法範囲内で作製してください。

②敷地にあわせてL2、L3、L4を決めてください。

③折板は、「■折板切断部詳細図」を参照の上L2、L4から5mmを引いて切断してください。切断の際は、フェルトペン又はテープなどで切断位置を記し切断します。

※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。サビの原因となります。

※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。

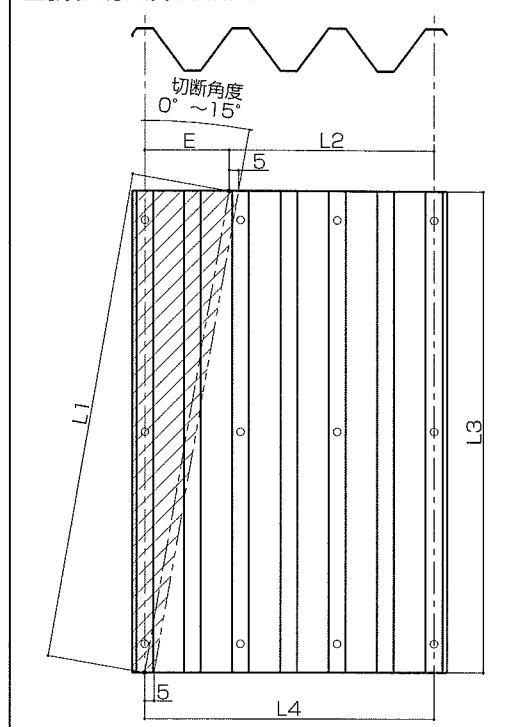
④切断した折板からL1寸法を測ってください。

⑤柱本数・柱スパンなどは長さL3、幅L4の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。(折板式カーポート(本体)取付け説明書参照)

⑥E寸法角度換算表から角度を求め、梁切断寸法表を参照の上、梁を切断してください。

⑦部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。

■折板切断部詳細図



●製作可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	側面台形 E	
	長さ	幅		最小	最大
900 ・ 1500	55	30	4	0	568
	60	30	4	0	631
	55	55	4	0	568
	60	55	4	0	631
	55	60	4	0	568
	60	60	4	0	631
3000	55	30	4	0	568
	55	30	6	0	952
	60	30	4	0	631
	60	30	6	0	950
	55	55	6	0	952
	60	55	6	0	950
	55	60	6	0	952
	60	60	6	0	950
4500	55	30	6	0	952
	60	30	6	0	950
	55	55	8	0	1346
	60	55	8	0	1166
	55	60	8	0	1346
	60	60	8	0	1166

※上記表のEは以下の式から求められます。

長さ55タイプ	$5400 \times \tan(90 - \theta 1)$
長さ60タイプ	$6000 \times \tan(90 - \theta 1)$

●対応角度一覧表(θ1)

タイプ	長さ55	長さ60
4本柱	84°～90°	84°～90°
6本柱	80°～90°	81°～90°
8本柱	76°～90°	79°～90°

●E寸法角度換算表(θ1)

E	長さサイズ	
	55	60
100	89°	89°
200	88°	88°
300	87°	87°
400	86°	86°
500	85°	85°
600	84°	84°
700	83°	83°
800	82°	82°
900	81°	81°
1000	80°	81°
1100	78°	80°
1200	77°	79°
1300	76°	78°
1400	75°	77°

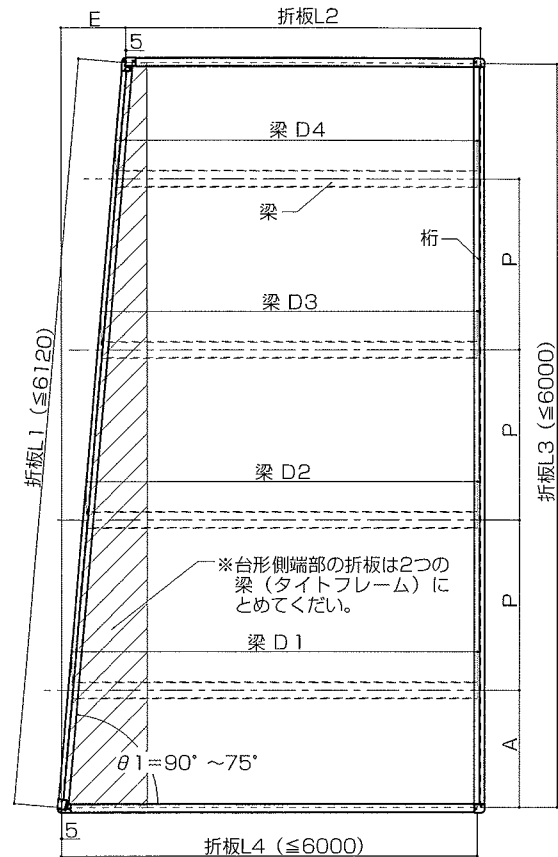
●梁切断寸法表

※この表はL4=6000mmの場合の数値です。

L4が5400mmの場合は600mm、3000mmの場合は3000mmを表の数値から引いてください。

※上段：長さ55サイズ、下段：長さ60サイズ

柱本数	4本柱		6本柱			8本柱			
A	1199 (1499)		599			599			
P	3000		2100 (2400)			1400 (1600)			
梁記号	D1	D2	D1	D2	D3	D1	D2	D3	D4
90°	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)	5972 (5972)
89°	5950 (5945)	5897 (5892)	5960 (5960)	5924 (5918)	5887 (5877)	5960 (5960)	5936 (5932)	5911 (5904)	5887 (5877)
88°	5928 (5917)	5823 (5812)	5949 (5949)	5875 (5865)	5802 (5781)	5949 (5949)	5900 (5893)	5851 (5837)	5802 (5781)
87°	5905 (5890)	5748 (5732)	5937 (5937)	5827 (5811)	5717 (5685)	5937 (5937)	5864 (5853)	5790 (5769)	5717 (5685)
86°	5883 (5862)	5673 (5652)	5925 (5925)	5778 (5757)	5631 (5589)	5925 (5925)	5827 (5813)	5729 (5701)	5631 (5589)
85°	5861 (5835)	5598 (5572)	5913 (5913)	5730 (5703)	5546 (5493)	5913 (5913)	5791 (5773)	5668 (5633)	5546 (5493)
84°	5838 (5807)	5523 (5492)	5902 (5902)	5681 (5649)	5460 (5397)	5902 (5902)	5754 (5733)	5607 (5565)	5460 (5397)
83°	—	—	5890 (5890)	5632 (5595)	5374 (5300)	5890 (5890)	5718 (5693)	5546 (5497)	5374 (5300)
82°	—	—	5878 (5878)	5583 (5540)	5287 (5203)	5878 (5878)	5681 (5653)	5484 (5428)	5287 (5203)
81°	—	—	5866 (5866)	5533 (5486)	5200 (5105)	5866 (5866)	5644 (5612)	5422 (5359)	5200 (5105)
80°	—	—	5854 (5854)	5483 (5571)	5113 (5007)	5854 (5854)	5607 (5571)	5360 (5289)	5113 (5007)
79°	—	—	—	—	—	5841 (5841)	5569 (5530)	5297 (5219)	5025 (4908)
78°	—	—	—	—	—	5829 (5829)	5532 (5532)	5234 (5234)	4936 (4936)
77°	—	—	—	—	—	5817 (5817)	5494 (5494)	5170 (5170)	4847 (4847)
76°	—	—	—	—	—	5804 (5804)	5455 (5455)	5106 (5106)	4757 (4757)
75°	—	—	—	—	—	—	—	—	—



●梁の寸法D1・D2・D3・D4は下記の式より求められます。

$$\begin{aligned}
 \text{梁D1} &= L4 - (A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \\
 \text{梁D2} &= L4 - (P + A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \\
 \text{梁D3} &= L4 - (P + P + A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \\
 \text{梁D4} &= L4 - (P + P + P + A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1))
 \end{aligned}$$

●部材切断寸法表

※桁・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1-A1-A2	—
ℓ2	—	L2-B
ℓ3	L3	—
ℓ4	—	L4-C

[参考]切断寸法A1・A2・B・Cの代表的な数値を示します。

θ1	A1	A2	B	C
90°	15	15	31	31
85°	15	15	33	36
80°	15	14	35	41
75°	15	14	37	46

●上記表のA1・A2・B・Cは以下の式から求められます。

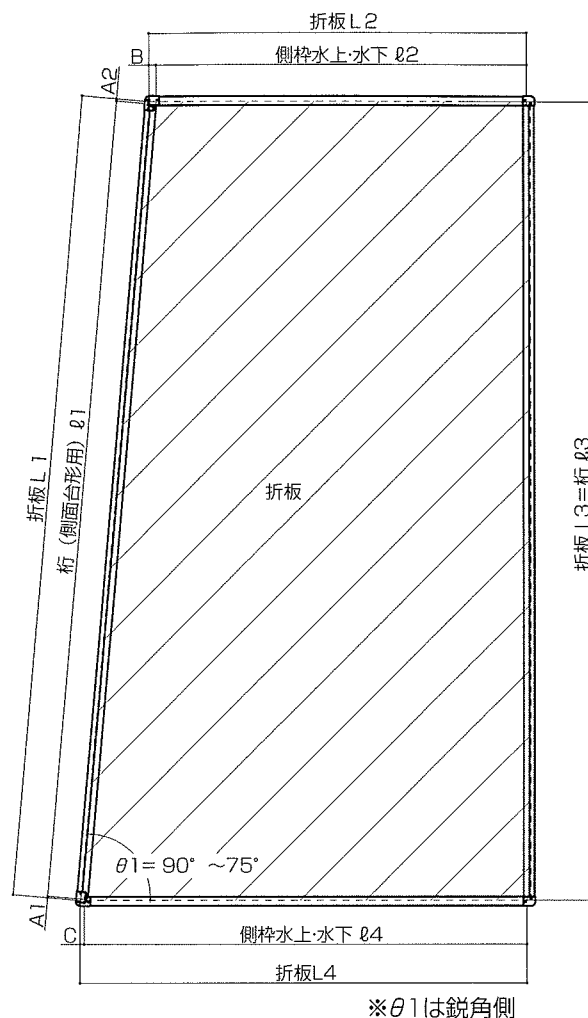
$$A1 = 26 - \frac{11}{\cos(90 - \theta 1)}$$

$$A2 = 26 - \frac{11}{\cos(90 - \theta 1)} - (11 \times \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1)$$

$$B = 31 + 22 \times \tan(90 - \theta 1)$$

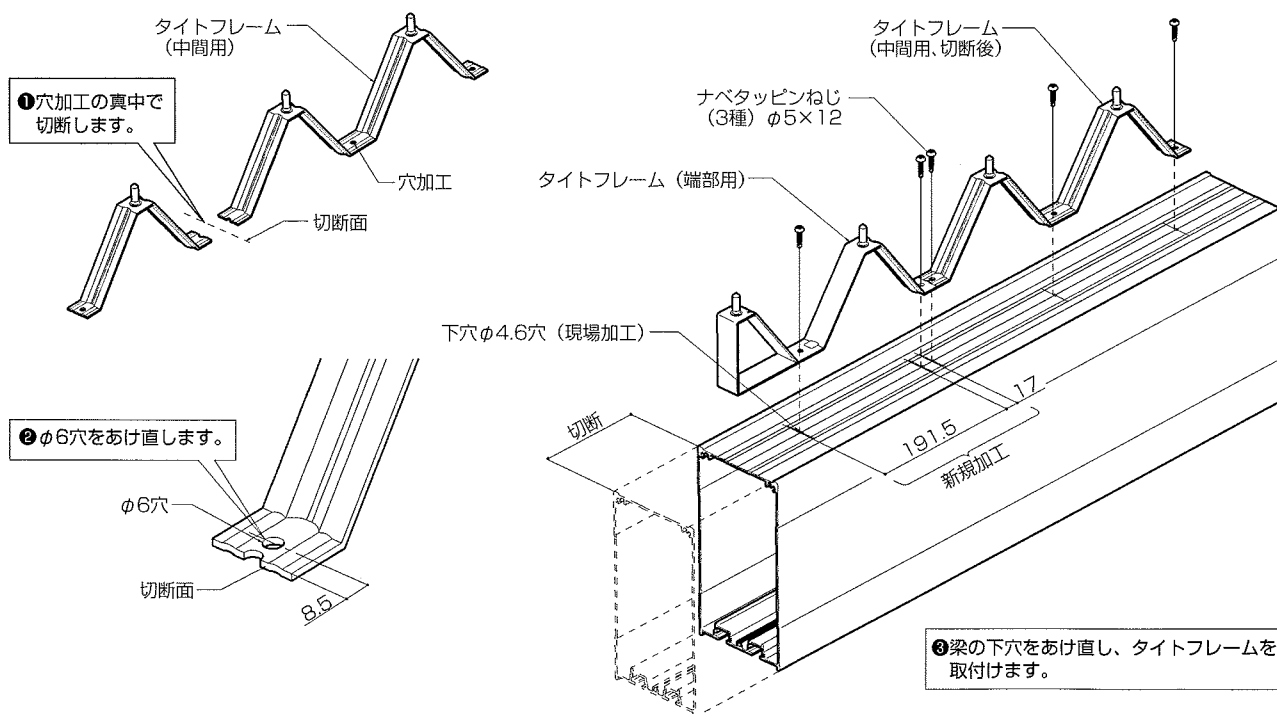
$$C = 31 + (90 - \theta 1) \times$$

※角度を数値として代入



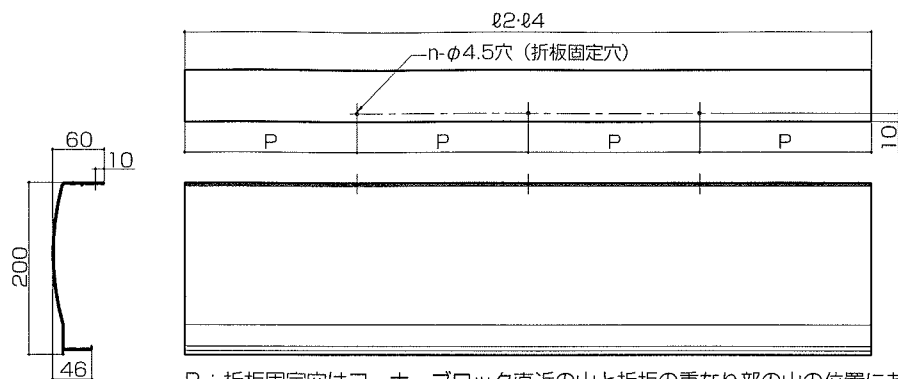
※θ1は鋭角側

※梁の切断寸法が600mm(タイトフレーム中間用1個分)の倍数でない場合、タイトフレームの切断加工が必要になります。



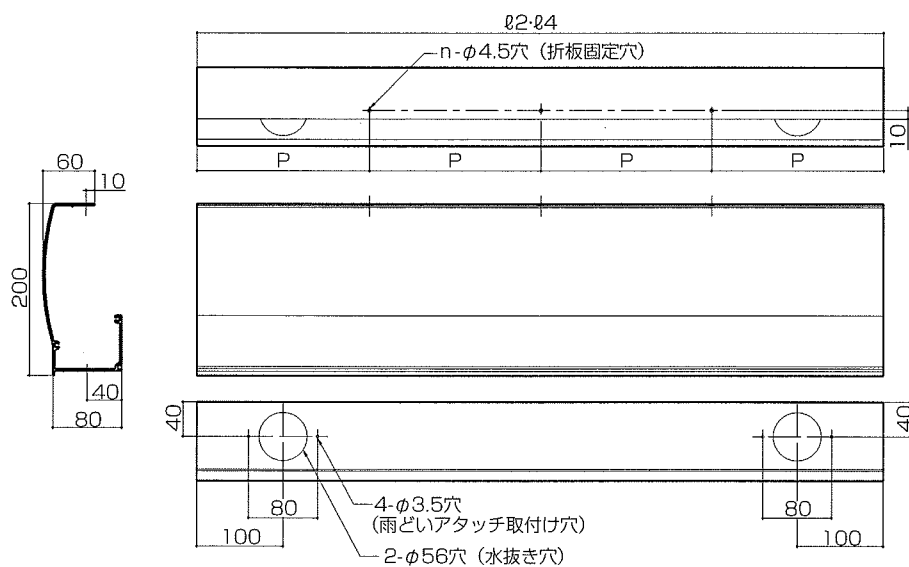
■加工図

●側枠水上



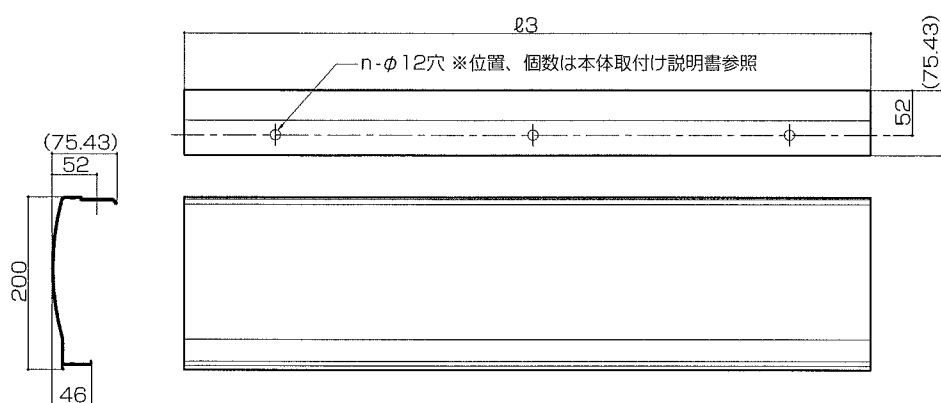
P : 折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●側枠水下

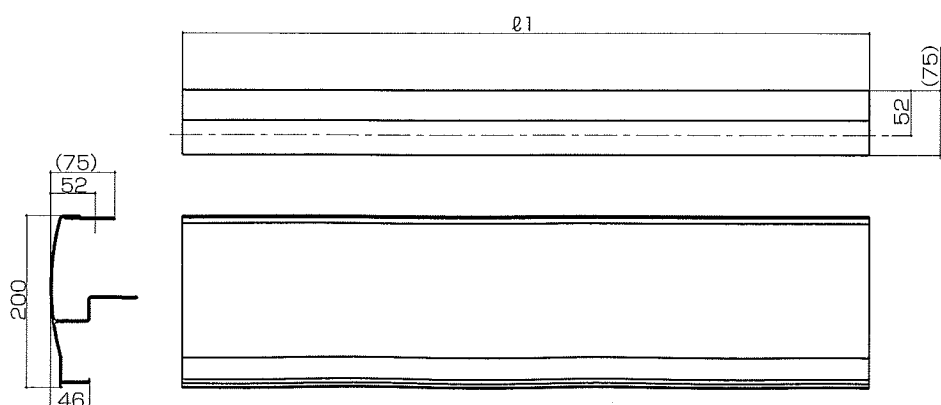


P : 折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●桁



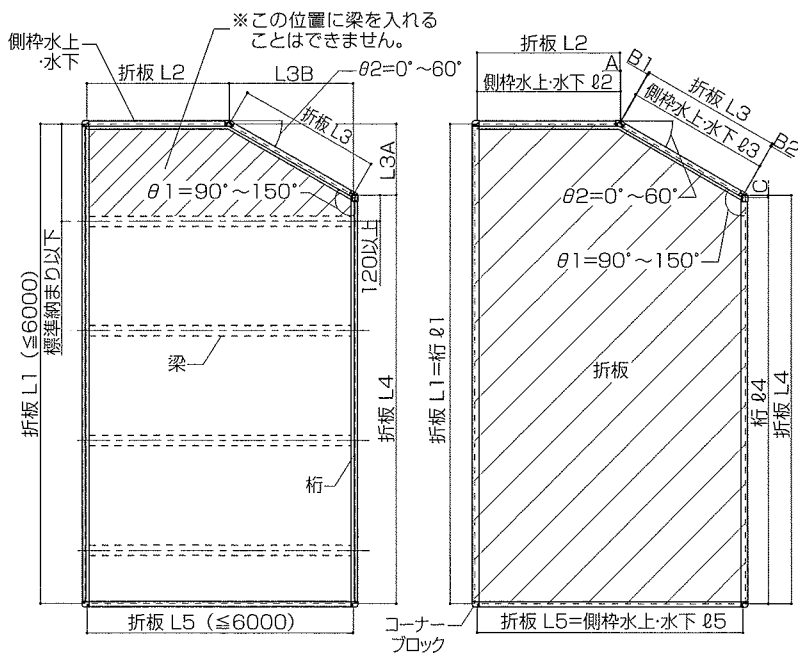
●桁(側面台形側)
および
桁カバー
(側面台形側)



4 隅切り

■製作制限

- ※基本図を参照の上、作製してください。
- ※折板は必ず2つ以上の梁(タイトフレーム)にとめてください。
- ※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。
- ※1台・2台用の設定となります。
- ※型材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。
- ※自在角度の範囲は0°～60°までです。
- ①製作可能寸法表の寸法範囲内で作製してください。
- ②敷地にあわせてL1、L3A、L3B、L5を決めてください。
- ③折板は、「■折板切断部詳細図」を参照の上、山の中心から角度を設定しフェルトペン又はテープなどで切断位置を記し切断します。
- ※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。サビの原因となります。
- ※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。
- ④切断した折板からL3寸法を測ってください。
- ⑤柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L5の長方形とみなしてそのサイズに準じて作製してください。(折板式カーポート(本体)取付け説明書参照)
- ⑥作製する隅切りの角度を、L3A・L3B寸法角度換算表から求めます。
- ⑦部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。

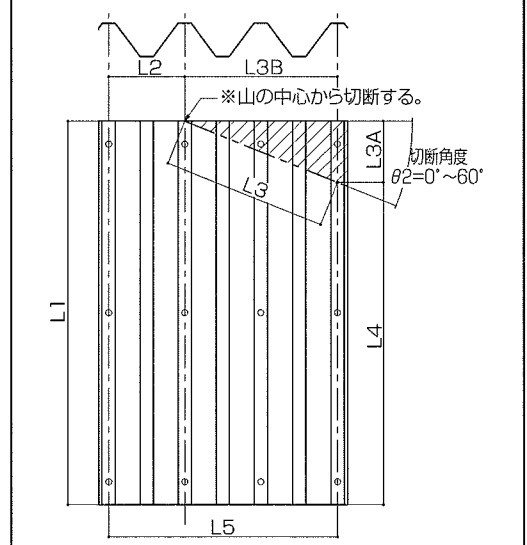


●製作可能寸法表

※隅切りはL3A、L3Bの値により相互の最大値が変動します。

タイプ	サイズ		柱本数	隅切り			
				L3A		L3B	
	長さ	幅		最小	最大	最小	最大
900 ・ 1500	55	30	4	0	1079	105	2915
	60	30	4	0	1379	105	2915
	55	55	4	0	1079	105	5315
	60	55	4	0	1379	105	5315
	55	60	4	0	1079	105	5915
	60	60	4	0	1379	105	5915
3000	55	30	4	0	1079	105	2915
	55	30	6	0	479	105	2915
	60	30	4	0	1379	105	2915
	60	30	6	0	479	105	2915
	55	55	6	0	479	105	5315
	60	55	6	0	479	105	5315
4500	55	60	6	0	479	105	5915
	60	60	6	0	479	105	5915
	55	30	6	0	479	105	2915
	60	30	6	0	479	105	2915
	55	55	8	0	479	105	5315
	60	55	8	0	479	105	5315
	55	60	8	0	479	105	5915
	60	60	8	0	479	105	5915

■折板切断部詳細図



●部材切断寸法表

※桁・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1	—
ℓ2	—	L2+A
ℓ3	—	L3+B1+B2
ℓ4	L4-C	—
ℓ5	—	L5

[参考]切断寸法A・B1・B2・Cの代表的な数値を示します。

θ1	θ2	A	B1	B2	C
90°～	0°～	0	0	7	10
95°～	5°～	2	2	6	12
100°～	10°～	3	3	5	15
105°～	15°～	5	5	5	17
110°～	20°～	6	6	5	19
115°～	25°～	8	8	5	22
120°～	30°～	9	9	5	24
125°～	35°～	11	11	5	27
130°～	40°～	13	13	6	30
135°～	45°～	14	14	8	33
140°～	50°～	16	16	9	37
145°～	55°～	18	18	12	42
150°	60°～	20	20	16	47

●上記表のA・B1・B2・Cは以下の式より求めます。

$$A=35 \times \tan(\theta 2 / 2) \quad B2 = \frac{28}{\cos(\theta 1 - 90)} - 21 - 11 \times \tan(\theta 1 - 90)$$

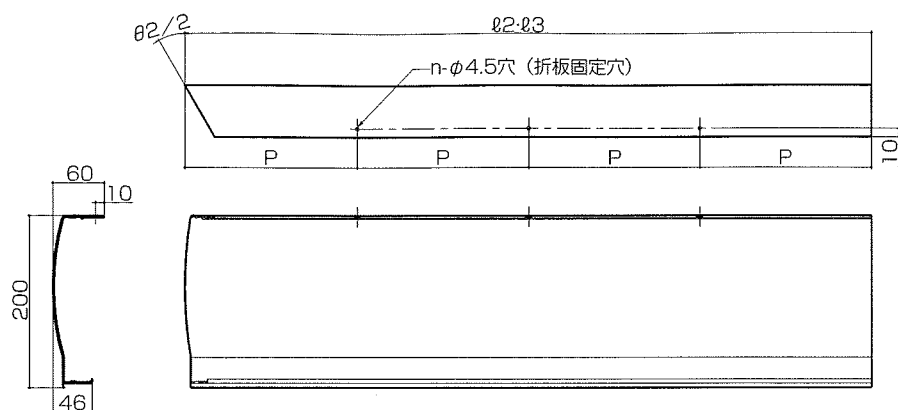
$$B1=35 \times \tan(\theta 2 / 2) \quad C=28 \times \tan(\theta 1 - 90) + (21 - \frac{11}{\cos(\theta 1 - 90)})$$

●L3A・L3B寸法角度換算表(θ1)

		L3B									
		～600	～1200	～1800	～2400	～3000	～3600	～4200	～4800	～5400	～6000
L3A	50	95°	92°	92°	91°	91°	91°	91°	91°	91°	90°
	～100	99°	95°	93°	92°	92°	92°	91°	91°	91°	91°
	～150	104°	97°	95°	94°	93°	92°	92°	92°	92°	91°
	～200	108°	99°	96°	95°	94°	93°	93°	92°	92°	92°
	～250	113°	102°	98°	96°	95°	94°	93°	93°	93°	92°
	～300	117°	104°	99°	97°	96°	95°	94°	94°	93°	93°
	～350	120°	106°	101°	98°	97°	96°	95°	94°	94°	93°
	～400	124°	108°	103°	99°	98°	96°	95°	95°	94°	94°
	～450	127°	111°	104°	101°	99°	97°	96°	95°	95°	94°
	～500	130°	113°	106°	102°	99°	98°	97°	96°	95°	95°
	～550	133°	115°	107°	103°	100°	99°	97°	97°	96°	95°
	～600	135°	117°	108°	104°	101°	99°	98°	97°	96°	96°
	～650	137°	118°	110°	105°	102°	100°	99°	98°	97°	96°
	～700	139°	120°	111°	106°	103°	101°	99°	98°	97°	97°
	～750	141°	122°	113°	107°	104°	102°	100°	99°	98°	97°
	～800	143°	124°	114°	108°	105°	103°	101°	99°	98°	98°
	～850	145°	125°	115°	110°	106°	103°	101°	100°	99°	98°
	～900	146°	127°	117°	111°	107°	104°	102°	101°	99°	99°
	～950	148°	128°	118°	112°	108°	105°	103°	101°	100°	99°
	～1000	149°	130°	119°	113°	108°	106°	103°	102°	100°	99°
	～1050	150°	131°	120°	114°	109°	106°	104°	102°	101°	100°
	～1100	—	133°	121°	115°	110°	107°	105°	103°	102°	100°
	～1150	—	134°	123°	116°	111°	108°	105°	103°	102°	101°
	～1200	—	135°	124°	117°	112°	108°	106°	104°	103°	101°
	～1250	—	136°	125°	118°	113°	109°	107°	105°	103°	102°
	～1300	—	137°	126°	118°	113°	110°	107°	105°	104°	102°
	～1350	—	138°	127°	119°	114°	111°	108°	106°	104°	103°
	～1400	—	139°	128°	120°	115°	111°	108°	106°	105°	103°

■加工図

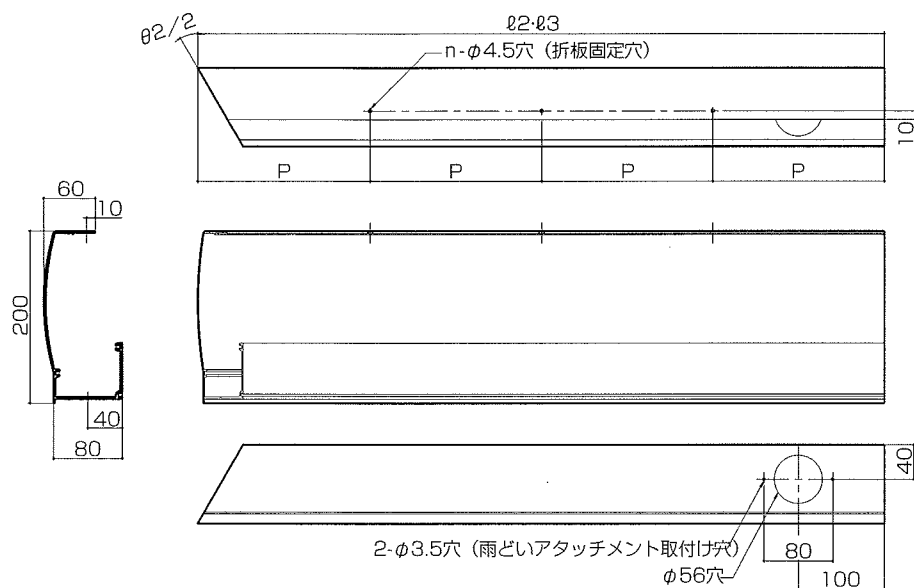
●側枠水上



※φ2-φ3は角度切断が対称加工になります。

※P:折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

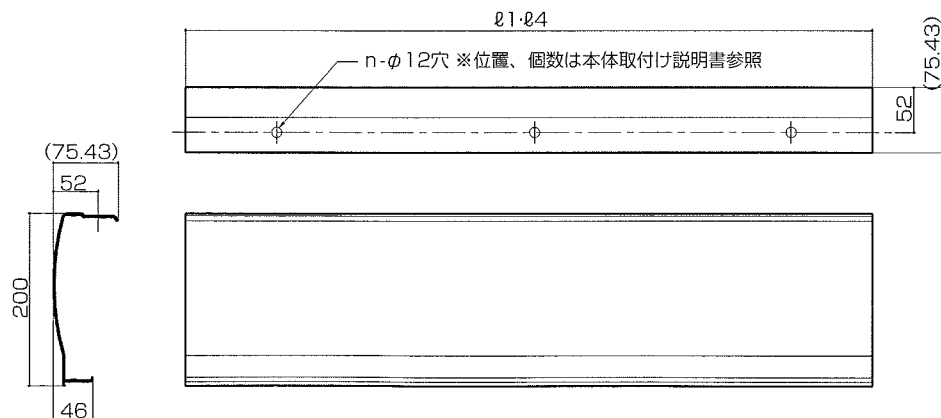
●側枠水下



※φ2-φ3は角度切断が対称加工になります。

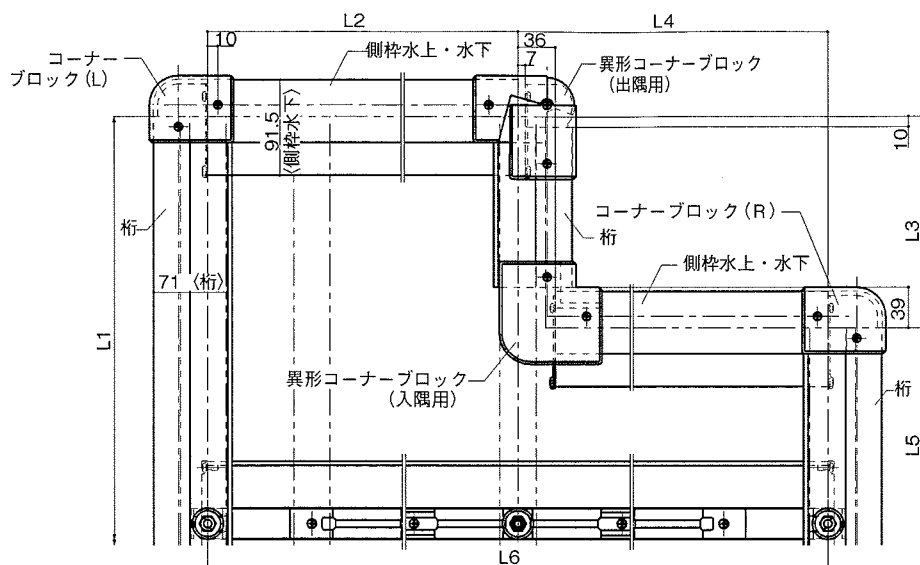
※P:折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●桁

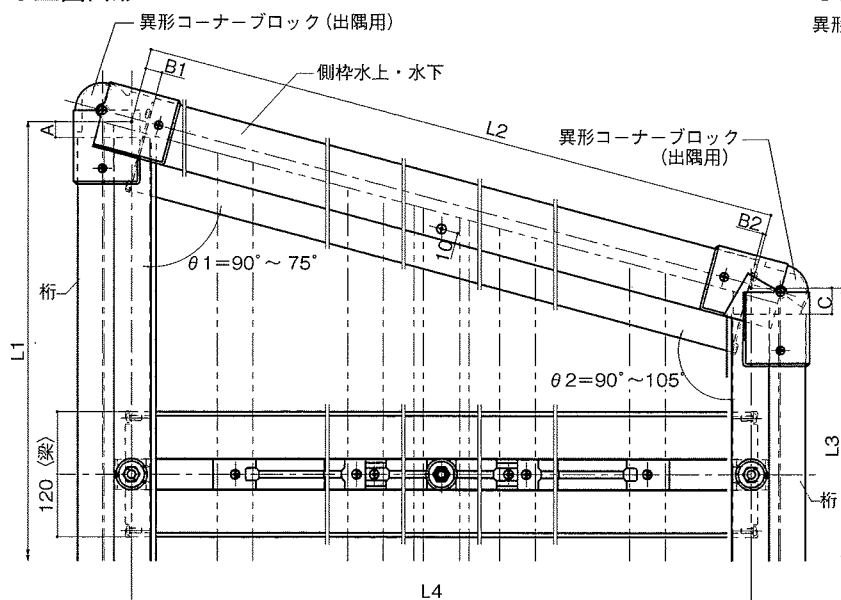


■ 姿図・基本図

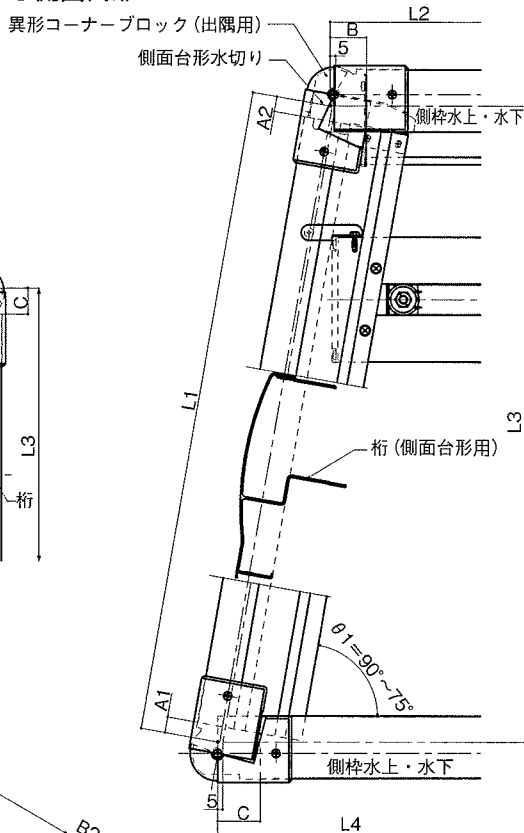
● 出入隅



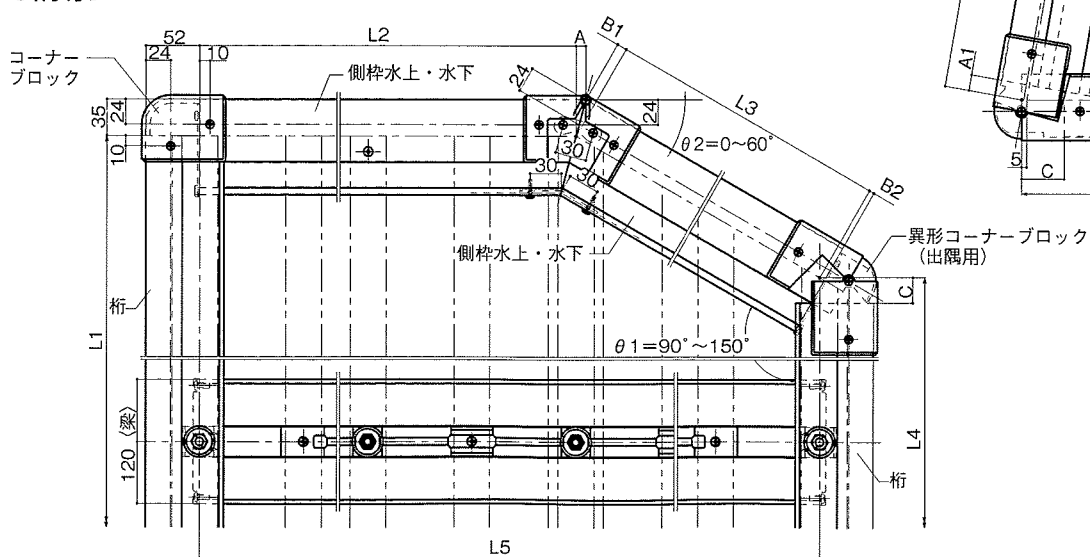
● 正面台形



● 側面台形



● 隅切り



折板式カーポート（異形コーナースタック）
取付け説明書

MAM-12A
AQ26
2010 年 4 月 12 日発行



販売店・施工店様へのお願い

●「ご使用上のご注意とお願い」を用意しております。必ずお施様にお渡しいただくようお願いします。

新日軽株式会社

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>